

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 平成26年8月7日（木） 午後1時30分から午後3時50分まで
- 3 開催場所 茨城県三の丸庁舎 3階 会議室A
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 中山 義雄, 三上 靖彦, 玉造 順一, 大橋 章, 石川 よう子, 石原 栄二, 藤田 好美, 鹿倉 よし江, 久信田 もと子, 仲田 光子, 宮内 久江, 大関 茂, 高橋 睦美, 小川 啓子, 小松崎 節子, 羽石 英司
 - (2) 執行機関 飯村産業経済部長, 白石観光課長, 小川観光課副参事兼課長補佐, 鯉淵観光課企画物産係長, 北井観光課主事
 - (3) その他 株式会社常陽産業研究所（水戸市観光基本計画策定業務受託業者）
久保田フェロー, 海老原地域研究部次長, 長嶋地域研究部調査役
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) あいさつ（公開）
 - (2) 計画の総論（基本的事項, 現況と課題, 基本的方向）について（公開）
 - (3) 計画の各論（施策の展開）について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
水戸市観光審議会資料（「水戸市観光基本計画（第3次）（素案）」）, 第1回水戸市観光審議会での提案（別紙1）, 「水戸市観光審議会」ワークシートでの提案（別紙2）, 参考資料, 水戸市観光審議会委員名簿
- 9 発言の内容
別紙 会議録のとおり

平成 26 年度 第 2 回水戸市観光審議会 会議録

執行機関 本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから、平成 26 年度 第 2 回水戸市観光審議会を始めさせていただきます。

はじめに_____会長から御挨拶をいただきたいと思います。

会 長 _____挨拶_____

執行機関 それでは、会議に先立ち本日の出席者数を報告させていただきます。審議会委員 20 名のうち 14 名が出席しており【注：会議途中で 2 名追加で遅れて出席】、委員の 2 分の 1 以上の出席がありますので、本審議会は成立しております。

さて、本日の審議会は「水戸市附属機関の会議の公開に関する規程」により公開となっております。公開の方法といたしましては、会議の日時・会議録等を市のホームページなどにおいてお知らせをしております。

会議録の作成のため、会議録署名人をお二方、審議会の中で指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、水戸市観光審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、会長に議長をお願いしたいと思います。_____会長よろしくお願いいたします。

会 長 それでは、議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。審議に入る前に、ただいま、執行機関より説明がございました附属機関の会議の公開制度に基づき、会議録署名人 2 名を指名いたします。

_____委員， _____委員以上 2 名の方を指名いたしますのでよろしくお願いいたします。

それでは、審議に入ります。6 月に開催いたしました平成 26 年度 第 1 回水戸市観光審議会において皆様からいただきました水戸市観光基本計画（第 3 次）（素案）に対する御意見を踏まえ、関係課等との調整を経て、執行機関において素案を修正いたしました。こちらにつきまして、まずは計画の総論部分に当たります、1 ページ「第 1 章 計画策定の基本的事項」から、28 ページ「第 5 施策の体系」までについて、内容を執行機関から説明願います。

執行機関 (資料「水戸市観光基本計画（第 3 次）（素案）」に沿って、1 ページから 28 ページまでのうち、前回の審議会から修正した箇所や変更を加えた箇所を中心に説明)

会 長 ありがとうございます。さて、執行機関から資料の 28 ページまでにつきまして、説明をいただいたところでございます。こちらにつきましては、関係課の意見等を踏まえて、資料の一部を修正したとのございますが、このことにつきまして、何か御質問、御意見等はございますでしょうか。また、特に、24 ページの将来イメージにつきまして、計画の基本的方向を決める重要なものですので、この点につき

まして、十分、お時間をお取りして、御意見いただきたいところがございますが、何か御質問、御意見等はございますでしょうか。

委員 目指す将来イメージのサブタイトルが「世界に誇れる偕楽園公園と水戸徳川家ゆかりの歴史を生かして～」となっているが、前回の審議会で指摘した通り、偕楽園と弘道館は一对になっているので、そこを表現できるように検討してほしい。「世界に誇れる偕楽園」というのであれば、やはり弘道館と連動することが必要かと思われる。斉昭が思いを込めてつくった弘道館とその翌年に完成した偕楽園は学問と休養を一对とした、他にはない水戸として誇れるものである。「新たな感動に出会えるまち 水戸」としては、このような学問と休養が一对となった施設がふさわしいので、弘道館が入っていないのはもったいないと感じる。それにつれて、28 ページ以降の施策も変わってくるのではないか。

会長 昔から「一張一弛」と言われているのはその点かと思う。それに関して、執行機関ではいかがか。

執行機関 決して弘道館を入れていないというわけではない。将来イメージのサブタイトルについては、世界に誇れる施設ということで、「偕楽園公園」または「千波湖」を入れるということで、協議を重ねてきたところだ。弘道館の素晴らしさについては、私どもも十分に承知しているところではあるが、各種アンケート結果でも弘道館の認知度は偕楽園の10分の1程度であり、まだ世界レベルには至っていないと考えている。20年後、30年後であればまだしも、この計画で目指す10年後には、まだ世界レベルに到達していないと考え、このサブタイトルには入れなかった次第だ。また、「偕楽園公園」というのは、狭い意味の「偕楽園」だけでなく、世界第2位の都市公園ということで千波湖を含めた広い範囲のことを指している。弘道館は「水戸徳川家ゆかりの歴史」という表現の中に織り込んで考えている。短い文の中で、あれもこれもと盛り込むわけにもいかないので、御理解いただきたい。

委員 弘道館は、水戸市が教育遺産群として世界遺産登録を目指して活動しているわけで、重要な施設である。

委員 水戸の街には資源がたくさんあり、あれもこれも入れたいと思ってしまう面がある。それだけ恵まれているということだと思う。なかなか一言では言い表せない。群馬県の富岡市などは、ある意味、富岡製糸場しかない。1個しかなければ、それだけを打ち出すということができる。

委員 私も偕楽園と弘道館はセットになっていると認識している。水戸徳川家では表現しきれていないのではないか。

会長 どこかの表現でフォローできないだろうか。資料の27ページの「1訪れてみたいと思える観光まちづくり」には弘道館の文言が入っている。

委員 未来に向けて新しいものを世界に向けて発信していきたい。これが水戸の観光の最終イメージになっていくのかと思う具体的な施設の名称を挙げるだけでは、水戸芸術館や新市民会館など、それ以外の新しいものが埋もれてしまっているような感じがする。「偕楽園公園」や「弘道館」も一つの面であるが、それが観光基本計画の全体イメージだと言われると違うのではないかと思う。歴史の部分も一面ではあるが、もっと広くイメージできるようなタイトルのほうが読む人も楽しいのではないか。具体化し過ぎていて、これからの水戸の魅力が見えてこない。

委員 前回資料では、「歴史性」と「先進性」という表現があった。「歴史性」だけを表現してしまうと、水戸芸術館など芸術的なもの、先進的なものが見えなくなってしまう、少しもったいない印象を受ける。

会長 弘道館、水戸芸術館がイメージできるようタイトルにすることか。執行機関案は上がサブタイトルで下がメインタイトルという認識で良いか。

執行機関 御認識の通りである。サブタイトルについては絶対になければならないというものではない。また、本日御提案させていただいたものは、あくまでも案であるため、具体的な入れてほしい文言などがあれば、修正することは可能である。

委員 水戸として誇れるものとしては、「歴史」、水戸芸術館に代表されるような「文化」、千波湖などの「自然」の3つに集約されるのだと思う。具体か抽象かの表現の違いはあれ、これら3つともを押し出していきたいというのがおおむねの総意だと思う。「歴史性」・「先進性」というような視点も出てきたところである。

会長 今はメインタイトルとサブタイトルが同じフォントサイズになっているが、例えば、メインタイトルの方は、もっと大きくして「水戸」を強調したり、逆にサブタイトルの方は、フォントを小さくして字数を増やして、「偕楽園公園」、「弘道館」、「水戸芸術館」などを入れたりしても良いのではないか。

執行機関 メインタイトルとサブタイトルでフォントの大きさを変えることは可能であるが、だからといって、これ以上タイトルを長くするのは難しい。もし、もっと簡潔にできるのであれば、簡潔な方が望ましい。

委員 歴史・自然ばかりではなく文化も入れるということ。水戸は自然よりも文化ではないか。

会長 歴史・自然とおもてなしを同列にしているのはおかしいのではないか。そもそも資質が違うものかと思う。歴史・自然・文化が連綿として作られてきたもので水戸が誇るものであるが、おもてなしは、やや水戸人に足りない部分で、これから頑張る部分である。

委員 上段を偕楽園公園・弘道館・芸術館、下段を歴史・文化・自然とすると良い。「お

もてなし」はまだまだ水戸は足りないと思う。タクシーに乗っても「偕楽園しかないんだよ」というような対応をしている。「おもてなし」はこれから磨いてかなければならない部分である。また、「新たな感動に出会える」というのはおかしい。そもそも「新たな感動」とは何か議論する必要がある。このフレーズから、どういう具体的な状況が思い浮かべられるのか。

委員 「新たな感動」ではなく「新たな魅力」ではないか。歴史・自然・文化などの組み合わせによって生まれるのは、「感動」ではなく「魅力」ではないか。

委員 「感動」という表現は押し付けがましい。人によっては、「感動」しない人もいるだろう。「おもてなしによって」は「おもてなしで」という表現が良いのではないか。「～によって」は固い印象を与える。

委員 「おもてなし」は、まだまだ出来上がっていないと思っている。(まだ文言として入れるには早急ではないか。)

執行機関 「感動」を「魅力」と表現を変えるのは良いと思う。「おもてなし」は、現状ではまだまだ十分ではないが、ここで議論しているのは、あくまでも10年後の「将来イメージ」であり、10年後に、「おもてなしによって」と言えるような都市を目指すという意味で、「ホスピタリティー」または「おもてなし」という文言を入れてはどうかと考えている。とはいえ、皆様から御意見が出ているように、10年後も難しいのではないかという思いもあるので、悩ましいところではある。

委員 「おもてなし」は受ける側が感じるものであり、こちらから言うことではない。こちらからやたらと言うのは、かえってみっともない。
ちゃんとできて当たり前であり、文字に表すということは、できていないと言っているようなものである。

委員 観光客ではなく、市民に対して呼びかけているのではないか。

会長 「～世界に誇れる歴史・自然・文化と水戸徳川家ゆかりの歴史を生かして～おもてなしによって新たな魅力に出会えるまち 水戸」ではどうか。こうすれば、「歴史・自然・文化」の表現の中に偕楽園・水戸芸術館・弘道館も含まれるのではないか。メインタイトルは、一番弱い「おもてなし」を、いっそのこと打ち出してしまっただろうか。水戸市民に対して意識付けする契機になるのではないか。これを見て、水戸市民が「もてなそう、もてなそう」と思ってくれれば良い。

委員 確かに誰に向けてのメッセージなのかで考え方は変わってくる。市民が頑張るためのものなのか、観光客に見せるためのものなのかということだ。

委員 私のイメージでは、のぼり旗などに印刷されてひらひらはためいているイメージであるが、もし、観光客の立場で来てそれを見たら、考え込んでしまう。

会 長 私が先ほど整理したのは、歴史資源などのハードのものだけでなく、「おもてなし」などのソフトのものを強調しないと、10年後の水戸が発展していかないのではないかと考えたからだ。

委 員 これは表には出さないのか。

会 長 これは、主に市の考え方を市の内部や市民に知らせるものという考えでよいのだよね。

執行機関 そのとおりである。

委 員 水戸市民の意識改革という意味では良いのではないか。そういったことを内部から発信していく必要がある。

委 員 再度確認するが、観光客には見せないのか。

執行機関 観光基本計画はホームページや閲覧請求で誰でも見ようと思えば見ることはできる。これは観光誘客のためのキャッチフレーズではなく、将来イメージなので、これをもってのぼり旗を作るということはない。情報公開の時代であるので、出来上がった計画は、外部にも出ていく可能性が高いものと考えていただきたい。

委 員 以前、東京都で鈴木都政の頃、「マイタウン東京・ふるさとと呼ぼう東京」という東京都の総合計画のサブタイトルがあった。東京都は、集団就職などで地方から集まった集合体であるが、このフレーズは、「もうそろそろ『ふるさと』と呼んでもいいんじゃないの」、「もっと自分たちの街を大事にしよう」と都民に呼びかけているフレーズである。このフレーズは外から見ても良いと思うし、都民の意識が変わるフレーズだったと思う。市民の意識をかき立てるようなフレーズが良いのではないか。

委 員 「東京の空をお預かりしています 水戸」という表現はどうか。水戸駅から外に出ると、高い建物もなく、東京では見られないようなすごく綺麗な青空が広がっている。東京の方がちょっと水戸に来て、こんなに空は高く綺麗だったのかと思ってもらえるような空が水戸にはある。抽象的な表現で、みんながいろいろな解釈ができて想像が膨らむようなフレーズの方が良いのではないか。

委 員 この部分は、ここまで議論するほど重要なものとも思えないのだが、いかがでしょう。

会 長 今議論していただいている「目指す将来イメージ」は、これを基に基本計画の枝葉を作っていく、おおもとの部分である。ここから細かい施策を組み立てていく。

委員 「近代日本・魁のまち 水戸」はどうか。歴史を知っていれば、魁という表現が水戸ほど似合う街はない。また魁の意味が分からない方は、勉強することで、水戸の歴史を学ぶことにつながるのではないかと。

会長 「魁」は第6次総合計画の文言で入っていたと思うが、どこの部分で入っていたのだったか。

執行機関 将来都市像の部分に入っている。「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する魁（さきがけ）のまち 水戸」ということで入っている。それが庁内にも浸透してきているところである。

会長 水戸の人間は自分の住むところを勉強していないばかりか、けなす傾向にある。私自身も反省している。

委員 事前に送られた資料が本日配布された資料に変更された理由は何か。24ページの下から2行目の「また～」以降の表現がまるっきり変わっている。

執行機関 調整前の資料を事前に送った。調整前の資料では、「彰往考来」など固い表現があったため、市民に分かりやすい表現にした方が良く、という庁内の意見があり文言を変えたものである。

委員 表現というよりも、内容も意味も全く変わっているのはなぜか。

執行機関 説明の文言は、上にある「将来イメージ」についての説明であるので、その「将来イメージ」が調整によって変わったので、その下にある表現も変わったものである。

委員 執行機関の試行錯誤があり、内容的にはかなり良くなっていると感じる。3つのキーワード「偕楽園・水戸芸術館・弘道館」と「歴史・自然・文化」を目指す将来イメージに入れるということで、おもてなしについては、やはり疑問が残るので、入れるか入れないか協議したら良い。

委員 水戸はやはり文化が重要である。例えば、メインタイトルのところを、「歴史・文化・自然によって新たな魅力に出会えるおもてなしのまち 水戸」などはどうか。
水戸市ではおもてなしの醸成に力を入れていこうといろいろな施策を行っているので、市長以下、執行機関にも、それを入れたいという思いがあるのだと思う。

委員 何を見せたいのか、何を覚えてもらいたいのかが分からない。何を思い出を持って帰っていただきたいのか。私たち水戸市民が「これを見てもらいたい」、「これを持って帰ってもらいたい」というものを押し出した方が良く。

委員 それであれば、具体的な個別名称を入れた方が分かりやすいのではないかと。

委員 借楽園，弘道館，芸術館というような感じで。

委員 歴史・文化・自然という表現だけだと，どこにでもある。

委員 これは基本計画の中の将来イメージであるので，例えば「おもてなし」であれば，これを市民に見せて，お客様が来たら一生懸命おもてなしをしたいと思ってもらうためのものだと思う。市民がこれを見て，私だったらこういうことをやってみたいと思ってもらえるようなところまで持っていかないと，無駄になってしまうと思う。これから10年かけて育てていくという気持ちが入らないとただの言葉で終わってしまう。

委員 消極的なものよりも「どんなもんだい」というような積極的なものの方が良い。

会長 行政的には具体的な一部の施設に絞ってしまうと問題なのかなとも思う。

委員 フレーズの後に「・・・」を入れたら，その意味をみんな考えるかもしれない。

委員 借楽園一つに特化したほうが良いと考える。良い所を伸ばして派生させていくイメージである。海外の観光ガイドブックにおいて水戸の観光資源で掲載されているのは借楽園だけである。

委員 海外では，「水戸黄門」も知られている。アメリカ人から水戸徳川家の家系図が欲しいと言われたことがある。歴史の浅い国では，こうしたものにも興味があると感じた。

委員 ちょっと提案したい。水戸には借楽園・弘道館・水戸芸術館という3つの大きな柱となる世界に誇れる地域資源がある。それに対し，これから10年間，市民が，この3つの資源をハブとして「おもてなし」を磨いていくという発想はどうだろうか。借楽園クラブ，弘道館クラブ，芸術館クラブというファンクラブのようなものを作る。それで，学部制のように3つのクラブごとに連続のおもてなし講座を開き，それは無料でも，多少お金をとって良いとは思いますが，市民が学びたいコースを選び，数年かけて市民のおもてなし力を磨いていく。

会長 佐世保の観光協会ですらそういう取組をやっていた。

委員 「おもてなし」という表現は，水戸の「おもてなし」が足りないから頑張っているという意味で執行機関が入れたと考える。それぞれ，借楽園，弘道館，芸術館でそれぞれ学部にして，それぞれの学部長に当たる先生を中心にして，それぞれの歴史，人物，作法，礼儀などを学んでいって，世界に発信していけるといいのではないか。

先ほど，_____委員からもあったように水戸のまちをけなしてはいけない。けな

す人をゼロにして、一人ひとりが営業部長や広報部長になったつもりで、PRしていくことが大事だと思う。

委員 サブタイトルに、「昔も今も水戸ってすご～いんだよ?!」というフレーズを入れてはどうか。その方が具体的でインパクトがあるのではないかな。

執行機関 _____委員のおっしゃったことはもともとであり、具体的な施策については、この後の35ページの市民協働によるおもてなし体制の充実の中で、そういうことをやっていってはどうかと考えているところである。今議論をいただいているのは、「目指す将来イメージ」についてであるので、こちらについては、本日、委員の皆様から、たくさん意見をいただいているので、執行機関で一旦持ち帰り、会長、副会長と協議した上で、再度、御提案させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

会長 「水戸徳川家」という表現はしっくりこない。市民のイメージとくっつかないのではないかな。

委員 「水戸黄門」の影響で、これまでの水戸の人気があるので、これは「水戸徳川家」の恩恵。「水戸徳川家」と入れても良いかなと思う。水戸の人は水戸のことをよく知らない。県外から来たお客様も、偕楽園と納豆は知っているけれども、市内の他の観光地までは回っていかない。市民も、もっと水戸について、自信を持って紹介できるようにした方が良い。

委員 先日、小石川後楽園に行った。直木賞の「恋歌」や「光圀伝」でクローズアップされているが、歴史的に水戸とつながりのある小石川後楽園に水戸のパンフレットは置いてあるのか。

執行機関 目立たない所ではあるが、パンフレットは置いていただいている。

委員 (小石川後楽園には、) 吉原殿中と梅羊かんを売っていたのは見た。せっかく東京に歴史的にもつながりのある施設があるのだから、もっと連携してはどうなのかなと思った。

委員 水戸藩の下屋敷と中屋敷と上屋敷という3つあったうちのひとつだ。

委員 偕楽園、弘道館、水戸徳川家など(の歴史的なもの)と並んで水戸芸術館を横並びで入れるのはどうなのかな?という感じはある。観光で来る方が納得されるのは、いわく・因縁・故事来歴がピカピカとしているか古色蒼然としているかというような点である中で、水戸芸術館が同列に並べるようなものなのかなというのはある。

会長 2, 3日前のニュースで、「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」に変わるということだが、いっそのこと、水戸芸術

館に小澤征爾氏の名前を冠しても良いくらいだと思っている。

委 員 おもてなし、歴史と言うが、小・中学校では、すでに相当、これらの教育を行っているのか。

委 員 副読本を使って、教育委員会も力を入れて、以前よりはかなり時間をかけて郷土教育を行っている。

委 員 「維新の光はここより昇る」と水戸市歌にもあるように、幕末の水戸はアジアの夜明けとも言える。黄門さまも日本で一番ぐらい有名な人である。歴史資源もそうだが、水戸芸術館も国際Aクラスの施設で、市民が使えないからといって文句を言っているようなレベルではない。千波公園は、世界第二位と言うが、見方を変えれば、日本一、アジア一の公園である。それは、外から見ると、すごい誇りにしていることだと思う。ただ、そこに来る方をうまく観光に取り込めていない。

委 員 ゲネプロツアーを2回やってみたが、水戸芸術館に来ていただいた方は、素晴らしいホールだと認識していただいている。しかしまだまだ、東京の方も市民の方も水戸にそういうものがあり、世界レベルの演奏会などが開催されているとは知らない。もっと情報発信できるとお互いにとって良いのではないかと考えている。

会 長 ありがとうございます。それでは、目指す将来イメージにつきましては、本日の皆様の御意見を踏まえまして、私、_____副会長、執行機関で、再度調整させていただきますので、次回の審議会において、改めてお示しさせていただこうと思います。

委 員 水戸芸術館の近くに新市民会館ができる計画があるので、2,000名収容を予定しているということなので、県民文化センターよりも大きい。水戸芸術館と新市民会館が核となってくるのではないかと考えている。

会 長 いずれにいたしましても、これにつきましては、私どもにお預けいただければと思います。続きまして、29ページ「第4章 施策の展開」から、38ページ「第5章 推進体制と進行管理」までについて、内容を執行機関から説明願います。

執行機関 (資料「水戸市観光基本計画(第3次)(素案)」29ページから38ページまでの内容、「別紙1」、「別紙2」及び「参考資料」に沿って、前回の審議会後に審議会委員の意見等を踏まえ追加した事業等について説明)

会 長 ありがとうございます。さて、執行機関から29ページ「第4章 施策の展開」から、38ページ「第5章 推進体制と進行管理」までについて、説明をいただいたところでございます。このことにつきまして、何か御質問、御意見等はございますでしょうか。また、これ以外に、このような事業があるのではないかと、この事業は不要ではないかというような御提案・御意見等がございましたらお願いいたします。

委員 小学校における水戸の歴史教育については以前よりは充実しているとはいえ、皆が小さい頃から水戸で生まれ育つわけではない。畑で作物を育てるとしたら、まず、土から耕す。他県から引っ越してきた方も水戸を知ることができるように、各家庭に水戸の歴史を分かりやすく説明するものが一冊あれば、それぞれが人に伝えたいと思ひ、それが観光にもつながるのではないか。

執行機関 郷土教育という形で行うか、おもてなしという観点で行うかは分からないが、各家庭に、ガイドブックや、読本のようなものを配れるように、また、計画にも盛り込めるように、検討させていただく。

委員 26 ページ、27 ページを見返してみたが、27 ページの「1 訪れてみたいと思える観光まちづくり」は、水戸の観光資源の魅力を向上させるということであり、「水戸の素材・コンテンツを磨く」ということ、「2 また来たいと思える観光まちづくり」は「1 の素材・観光資源をどんな仕掛けでお迎えするか、どんなパッケージをしていくか」ということ、「3 伝えたいと思える観光まちづくり」は市民と行政の官民による受け入れ態勢の話が書いてあると読み取れる。そういった視点で見っていくと政策が分かりやすい感じがする。ただし、2 の部分に「ホスピタリティー」が入っているが、個別施策の概要では、3 の「伝えたいと思える」の部分に入っているのではないかと思うので、そこはどうなのかと思う。また、今の整理で言うと、28 ページのコンベンションについて、31 ページから 32 ページにはコンベンションの誘致活動とコンベンション施設整備についての両方が書いてあり、それぞれの場所に入れ替えが必要である。コンベンション施設整備は、1 の観光資源の話だと思う。誘致活動については、仕掛けづくりであるので、2 の「また来たいと思える」に入ってくるのだと思う。また、「体験・交流型観光の充実」については、資源の部分も、仕掛けの部分もあり、整理が難しいと感じた。今申し上げたように、3 つの戦略を言い換えてみることで、政策が分かりやすくなると思う。それは、逆の言い方をすると、「訪れてみたい」や「また来たい」のような基本戦略の分類の文言が分かりづらいついということであり、「1 訪れてみたいと思える観光まちづくり」と「2 また来たいと思える観光まちづくり」は主語が観光客であるが、「3 伝えたいと思える観光まちづくり」は主語が私たちになっている点も分かりづらくしている部分だと思う。「磨く」、「仕掛け」、「受入態勢」みたいな易しい言葉に書き換えていけたらいいのではないかと思うので、検討を加えていきたい。

会長 「伝えたい」は、観光客の皆さんが「行って良かったよ」というのを口コミ的に伝えていくということだと私は理解していたが違うのか？私の理解では、ここで言っているのは、お客さんが「訪れてみたい」、お客さんが「また来たい」・リピートしたい、何度も行ったけど良かったよ、何々がおいしかったよ、ということをお客さんが「伝えたい」という整理だと理解したのだが。

委員 施策の方を見ると、会長の説明よりも限定された、教育やおもてなしなどの市民や行政が行うことが書かれている。施策の内容からすると、「私たちが」伝えたいと

ということだと思う。今、その分類の意図を確認したいというわけではなく、そのような内容であれば、「磨く」、「仕掛け」、「受入態勢」のような分かりやすい内容にしていきたいなと思ったということだ。

執行機関 _____委員の御意見は執行機関で持ち帰り、文言や中身について、再度、精査する。

委員 一点だけお聞きしたい。25 ページの目標値の設定において、「観光交流人口年間450 万人」の数字を掲げているが、これは今までどおりのことをやっていけば達成できるのか、それとも、何か付け加えていかなければ達成できないのか、その辺りの見込みをお聞きしたい。少し大き過ぎるのではないかと思うが。

執行機関 こちらの目標値は、市民一人一人のおもてなし意識の醸成が実現でき、スポーツイコンベンションや様々なイベントの開催が実現すれば、実現可能な数値と考えている。それに向けて努力してまいる所存である。

委員 35 ページの「優良タクシー乗務員認定事業」はタクシー乗務員全体の底上げの向上を目指しているものなのか。通常、お客さんは乗務員までは選択できない。

執行機関 こちらは、観光課の事業として行っているもので、現在は20名程度が優良タクシー乗務員と認定されているが、少しずつ増やしていき、将来的には100名を超えるドライバーの養成を目指していきたい。優良タクシー乗務員が増えれば、客は良いドライバーを選ぶようになり、最終的には、おのずと、マナーの悪い、やる気のないドライバーは自然と淘汰されていくと考えている。

委員 駅の北口や南口で並んでいけば、客は優良マークのあるなし関係なく、タクシーが来た順に乗るわけで、現実的には、乗務員を選べない状況にあるので、最低でも、ある一定レベルの観光案内であれば、どの乗務員もできるように、業界団体においても教育の普及を図ってほしい。おもてなしで一番最初に引っかかってしまうのがここである。

委員 優良タクシー乗務員については、認定証のようなものがあるのか。

執行機関 優良タクシー乗務員の認定証とステッカーをお作りし、それぞれタクシーに貼っていただいておりますが、目立つようにはなっているが、まだ、全体数が少ないので、浸透するには、もう少し時間を頂きたい。優良タクシー乗務員が増えれば、もっと目立つようになると思う。

会長 タクシー乗務員のマナーの悪さについては、行き先を確認せずに出発するというのと、行き先を伝えても返事をしないというようなことがいつも指摘されている。

委員 外から来たときに、何を見てタクシーを選ぶかという観点でいうと、そのような

優良タクシー乗務員が増えていって、分かりやすいステッカーが貼ってあって、安心して観光客に乗ってもらうということが大切だと思う。

委員 2点ほど言いたい。観光交流人口年間450万人のためには、観光客が水戸に来た際の「食」が重要である。水戸のものは全ておいしいと思うが、黄門料理や水戸藩らーめんなど水戸でしか食べられないものをうまくPRすべき。黄門料理は高くても勧められないというような声も聞くが、それであれば、その半分の食材のものを、半額の値段で提供するなど質を下げない形で提供しても良いのではないかと思う。「水戸ならではの食」をもっと大事にしてもらいたい。

また37ページの「次世代をリードする人材の育成」については、小学校は、各学年とも郷土学習を行っていると思うので、教育委員会と連携して、偕楽園・弘道館・水戸芸術館を学年に応じて学ばせていったらどうか。

会長 学校教育で使っている副読本を私は見たことがないので、もし、次回の審議会で、執行機関で用意できるのであれば用意してほしい。

執行機関 学年ごとに回していけるほどのボリュームはない。歴史に関する副読本は4、5年生など高学年になってから使っている。各学年ごとに内容の違う副読本を使っている。次回の審議会で副読本を各委員に回覧したい。

委員 水戸の自然などを記した理科の副読本もあれば見てみたい。

執行機関 自然の副読本は把握していないが、それ以外に道德の副読本などもある。

会長 毎朝千波湖をジョギングしているランナーから、千波湖にシャワールームを作っ
てほしいとの意見を頂いたことがある。

委員 それは設置した方が良い。アスリートは、良いところには、引き続き来てくれる。東京の皇居の周りには民間のシャワールーム・ロッカーが多数ある。消費カロリーに応じ、栄養バランスにこだわったアスリート系の食事を提供するカフェもできていて、大変な賑わいを見せている。

委員 有料で民間が行うのであれば十分成り立つ。

会長 その辺りは検討の余地があるかと思う。

委員 観光交流人口450万人を目指すということであったが、今後コンベンション施設が完成してくると全国大会などがあると思うが、水戸市としての歓迎のイベントなどの、また来たいと思える仕掛けが必要である。

会長 アフターコンベンションというような感じであろうか。

委員 水戸駅でのお出迎えやパンフレットを配るなどだ。

執行機関 これらについては、コンベンション機能の充実と併せて、実際の誘致の際に、アフターコンベンションも含めたおもてなしをどのようにやるのか、大会が終わった後、どのように観光地を案内するのも含めて、観光協会が中心になって企画していくことになるかと思うので、様々な御意見・御提案があれば頂きたい。

委員 先日、水戸黄門まつりの花火を鑑賞した。ふと感じたことだが、千波湖に船を浮かべて、そこで鑑賞できたら良いのではないかな。気持ち良いのではないかなと個人的には思う。

会長 それよりも、偕楽園の上から見るのが、水面に映え、最も良い。消防法の関係で立入禁止区域を設定しなければならず、船からの鑑賞はできない。

委員 そうすると、千波湖の面積がちょうど危険から遠ざける距離になっているのか？船を浮かべると、その危険区域に入ってしまうから駄目だということか。

会長 湖上だけでなく、文化センターの辺りからの道路も午前中から立入禁止になっている。やはり偕楽園の上が一番だ。

委員 一部は、湖上でも入っていないところがあるのでは？

委員 34 ページに「広域的観光連携の推進」とあるが、県北エリアの旧水戸藩領内ぐらいであれば、旧水戸藩領内の盟主である水戸がリードして、他の地域も含めて全部PRするくらいしても良いのではないかな。連携というよりも、もっとずうずうしく「全部水戸が面倒みよう」で良いのではないかな。

委員 水戸が県北全体を引っ張っていくという観点で行けば、連携も大事であるが、水戸に関連した施策として、水戸ブランド化推進協議会を設立したい。笠間でブランド化推進協議会を立ち上げている。それは、笠間の農産物や笠間の名所旧跡をブランディングしていこうという推進協議会である。水戸でも同様のものを立ち上げて、水戸を中心に茨城県全体を底上げするのが、手法としては早いのではないかなと思う。例えば七面焼をブランディングしていくと良い。笠間焼よりも、水戸藩の七面焼の方が歴史が深い。焼き物は練る時と、焼き上がった時の少なくとも2回来てくれる。リピーターになってくれる。そういった仕掛けづくり、仕組みづくりをやっていくべきなのではないかなと思う。

委員 水戸に観光で来る方はどのような交通手段で来るのか。そのようなデータはあるのか。バスなのか電車なのかマイカーなのか。それによっては観光ルートの範囲や、一番お金を使う宿泊の対応などが変わってくる。

委員 5 ページ表-⑤にある通り、80%を超える方が自家用車を交通手段としている。そ

のほか、貸切バスが10%、鉄道・定期バスが10%というイメージである。

委員 自家用車がほとんどということは、回遊性も十分に成立するはずである。

委員 それぞれで小さなグループや個人で、勝手に回って帰っているのだろう。

委員 そこを勝手に歩くのではなく、こちらでコースを良く選定して、提案していけば、提案型の観光になるのではないか。

委員 先日、東京の谷中を歩いていたら、スマートフォンを見ながら歩いている親子がいた。そういう観光の仕方がこれから増えるかもしれない。

委員 私は、道やバスを探している人を見ると、声を掛けることが多い。スマートフォンを見ている方には声掛けしづらい。プライバシーのこともあるので。

委員 スマートフォンで話題になっているAR(拡張現実)を水戸でもやるべきである。水戸城跡にかざすと画面上に3Dで浮かび上がるようなことができる。お城の説明なども表示させることができる。スマートフォンやタブレットを活用した観光推進も必要である。水戸駅の観光案内所や水戸観光協会でデポジット制により保証金前払いで端末を貸すという方法でも良い。それにより案内人がいなくても楽しめる。水戸が魁の意味も込めて率先してやるべきである。

委員 34ページの広域連携による回遊できる観光地づくりの推進について。茨城県では陸・海・空の整備、すなわち、高速道路、港、空港の整備を謳っているが、水戸には海からは観光客は来ないのか。また想定はしていないのか。近くに大洗港はあるが。

執行機関 フェリーで北海道から来てくださっている。フェリーに車を積んでくる方もいれば、大洗港を降りたらバスで移動される方もいる。これは大洗との連携に含まれていると考えるが、フェリーと表現した方が良いのであれば御提案いただきたい。

委員 大洗観光協会等との連携がここから読めるので、問題はないかと思う。

委員 茨城空港には中国人が多数来ている。中国語に対応した水戸のパンフレットは茨城空港に置いてあるのか。

会長 すでに茨城空港に置いてある。日本語、英語、それから中国圏が中国本土向けの簡体字と台湾向けの繁体字と両方用意している。

委員 水戸市のブランド化推進協議会を早急に立ち上げることを提案したい。笠間は動きが早く、インバウンド観光の推進協議会も作られており、英語での外国人に対するおもてなしのための外国語教育もやっている。水戸も早めに動いて立ち上げな

ればならない。笠間に気持ちで負けていられない。水戸が率先して魁の気持ちでや
っていくべきである。地域観光の活性化のためには、プラットフォームとマネー
ジャーとなるような人材の育成が必要である。この2つを提案したい。

執行機関 37 ページの3-4-3の「MI TOファン倶楽部」の創設の中身とも関わる話で
もあるので、_____委員の御提案の内容の詳細をお聞きして、表現については調整
させていただきたい。

委 員 今の提案は、「MI TOファン倶楽部」ではなく、36 ページの3-2-3「水戸
のブランドイメージの確立」に関わる話かと思う。ブランドというと、水戸商工会
議所においても、お菓子などで「黄門ブランド」や「梅色未来」などを持っている
が、ほとんど役に立っていない。

委 員 はっきり言って、デザインが悪いのだと思う。見させてもらったが、あか抜けな
いデザインである。それを見た人があの商品を買いたいと思うものを作らないとま
ずいのだと思う。

委 員 その点も含めて、あっちこっちで似たものを作るのではなく、整理が必要。地域
ブランドとは名前だけで「ブランド」になっていない。そもそもの戦略が間違っ
ていたのだと思う。

委 員 (水戸には) せっかく良いものがあるのだから、見せ方やデザイン力でうまく発
信できると良いのではないか。

会 長 宇都宮市は餃子とカクテルとジャズの街ということで売り出しに成功している。

委 員 自然という意味で千波湖のバードウォッチングのニーズはないのか。

会 長 あると思う。逆転の発想で、秋田などでは地吹雪の寒い時期に「地吹雪ツアー」
をやっている。東日本大震災の当日の夜の夜空も綺麗だった。マイナスをプラスに
変える逆転の発想も必要。

委 員 こういう会議の機会もあるので、官民協働でプラットフォームづくりを行い、ブ
ランディングしていった方が早いのではないか。水戸の観光を活性化するためのプ
ラットフォームづくりと、キーマンとなるマネージャーが必要である。

会 長 様々な御意見ありがとうございました。まだ言い足りない御意見もあるかと存じ
ますが、時間の関係もございますので、本日言い足りなかった御意見等は、お手元
にお配りいたしました様式で、8月21日(木)までに郵送、Eメール、FAX等
により執行機関宛て御提出いただければと思います。続きまして、その他というこ
とでございしますが、執行機関から何かございしますか。

執行機関

執行機関より2点御連絡いたします。まず、今、_____会長から説明がありましたように、皆様のお手元に意見記入用のワークシートをお配りさせていただいております。本日お手元にお配りいたしました意見記入用の様式につきましては、Eメールをお使いであらかじめ執行機関にメールアドレスを御連絡いただいている委員様に対しては、メールにて、電子データでも、様式をお送りいたしますので、記入しやすいように、加工していただいても結構です。また、今後の予定につきまして、御説明いたします。本日、皆様から頂きました御意見につきましては、執行機関で整理いたしまして、庁内検討委員会等を通して、関係する部署等との調整を行ってまいります。次回の第3回観光審議会につきましては、10月29日（水）の午後1時30分から、本日と同じ、ここ県三の丸庁舎の3階会議室Aにおいて開催を予定しております。皆様には、後ほど御通知申し上げます。御多忙のところ申し訳ございませんが、御出席のほどよろしく願いいたします。

また、皆様のお手元に近日開催される行事のチラシを配布させていただいた。一番直近のものは、明日から県三の丸庁舎広場で開催される「いばらきカレーバトル」、その後、今月28日～31日に「水戸クラフトビールまつり2014in東照宮」、9月1日から「水戸の萩まつり」と続きますので、よろしく願いいたします。

会 長

ちなみに、中秋の名月は、今年は9月8日であり、暑い盛りではあるが、5席のお茶席が出て、お客様をおもてなしする。

皆様も、他に何かございませんか。

特にないようであれば、以上をもちまして、本日の審議事項は全て終了いたしましたので、ここで議長の役を終えさせていただきます。皆様、御協力、誠にありがとうございました。

執行機関

以上をもちまして、平成26年度第2回水戸市観光審議会を閉会とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。